

D公差		差	型式			指定0.01mm単位				0.005mm単位	ī					
D		+0.005	Toma	D	L	(A)	DREG	B	MT*		Н	Т				
ט	m5	0	Туре	ט		min. P max.	P·Kmax. P·Wn	in. R	(被加工材板厚)	(クリアランス)	Ш					
4			(D _{ms}) (SKH51相当) (SKH—AHD	(4)	8 13 16 20 22 25 30	1.00~ 1.50	_ -				5	3				
5	+0.009 +0.004		(粉末ハイス鋼) A SRーPAHD SRAーPAHD	(5)	8 13 16 20 22 25 30	1.00~ 2.50	- -] _		C≧0.010 クリアランスは	6	3				
6			(D _{m5}) (D ^{+0.005} ₀) (SKD11相当)	6	16 20 22 25 30 35	1.00~ 3.00	3.00 1.0	0		0.010mm以上より ご指定頂けます。	9					
8	+0.012	+0.005	A SR−AHD SRA−AHD D SR−AHDD SRA−AHDD	8	16 20 22 25 30 35	1.00~ 4.00	4.00 1.0	0.15	MT≧0.15		11					
10	+0.006		R SR-AHDR SRA-AHDR E SR-AHDE SRA-AHDE	10	16 20 22 25 30 35 (40)	2.00~ 6.00	6.00 1.2	- - • •	被加工材板厚は 0.15mm以上より	クリアランス	13					
13	+0.015		G SR-AHDG SRA-AHDG (粉末ハイス鋼)	13	16 20 22 25 30 35 (40)	3.00~ 8.00	8.00 1.5	0 未満	ご指定頂けます。		16	5				
16	+0.007		A SR-PAHD SRA-PAHD D SR-PAHDD SRA-PAHDD	16	16 20 22 25 30 35 (40)	5.00~10.00	10.00 2.0	1 2			19					
20	+0.017		R SR-PAHDR SRA-PAHDR E SR-PAHDE SRA-PAHDE	(20)	16 20 22 25 30 35	7.00~12.00	12.00 3.0	7,		ダイ刃先	23					
25	+0.008				_		G SR-PAHDG SRA-PAHDG	(25)	16 20 22 25 30 35	10.00~16.00	16.00 3.0	0			28	

 $• 0.15 ≤ R < \frac{W}{2}$

(P寸ストレート部1.5mm以上)

※MT(被加工材板厚)およびC(クリアランス)は、カス上がり対策の溝加工データとして使用するものです。刃先寸法(P·W·R)はボタンダイ仕上寸法にてご指定ください。

♠D=(4)(5)は♠形状(丸)のみの規格です。□□□□□の形状はありません。

(*)D=(20)⋅(25)はシャンク径公差Dm5のみの規格です。

(*)L=(40)はSR-AHD、SR-AHDD、SR-AHDR、SR-AHDE、SR-AHDGのみの規格です。

 $\P K = \sqrt{P^2 + W^2}$

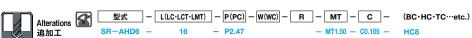
・引張強度1177N/mm²(120kgf/mm²)までの被加工材のみに適用可能です。







カス上がり対策ダイ



₽¥ P.1735

			77.4.7.10				
	追加工	記号	刃先形状				
-		PC WC	刃先径変更 <u>min</u> : ^P _W > ^{PC} _{WC} ≥ <u>P·Wmin</u> / ₂ ≥ 1.00 指定0.01mm単位 <u>max</u> : ^P _W < ^{PC} _{WC} ≤ P·Kmax. + 0.2 指定0.01mm単位				
刃 先		ВС	∇				
		PKC	刃先径公差変更 P ^{+0.01} ⇔ +0.005 0 P·W±0.01⇔ +0.01				
	Mal	LC	全長変更 10≦LC <l 指定0.1mm単位 (LKC·LKZ·CKC·MKC併用の場合0.01mm単位指定可 ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</l 				
		LKC	全長公差変更 L+0.4 ⇔ +0.05 +0.2 0 ⊗L(LC) <10適用不可 (LC併用の場合、L寸法0.01mm単位指定可)				
	<u> </u>	LKZ	全長公差変更 L+0.4 ⇔ +0.01 +0.2 ⇔ 0 (LC併用の場合、L寸法0.01mm単位指定可)				
	H	СКС	ッパ厚公差・全長公差変更を1つのコードで加工します。加工限界はTKCとLKCと同様 ②L(LC) < 16適用不可 TKC ッパ厚公差変更 T + 0.3 ⇔ + 0.02 + 1 + 0.4 ⇔ + 0.05 0 (IC帰用の場合、IT油のImm單位+IC帰用の場合、IT油のImm單位に開用の場合、IT油のImm單位形形の場合、IT油のImm單位形形の場合、IT油のImm單位形形の場合、IT油のImm單位形形の場合、IT油のImm單位形形の場合、IT油のImm單位形形の場合、IT油のImm單位形形の場合、IT油のImm單位形形の場合、IT油のImm單位形形の場合、IT油のImm單位形形の場合、IT油のImm單位形形形成形成形成形成形成形成形成形成形成形成形成形成形成形成形成形成形成形成				
全長		MKC	ッパ厚公差・全長公差変更を1つのコードで加工します。加工限界はTKMとLKCと同様 ◇L(LC) < 16適用不可 TKM ッパ厚公差変更 T + 0.3 ⇔ 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				
		LCT	ツバ厚公差・全長変更・全長公差変更を1つのコードで加工します。注文方法はLCと同様。加工限界、注意事項(₹) は各単体追加工と同様 TKC LC LKC ツバ厚公差 全長公差変更 + 全長公差変更 変更 ②L<16適用不可(い法の1mm単位指定可)で併用の場合、「寸法の1mm単位指定可)				
		LMT	ッパ厚公差・全長変更・全長公差変更を1つのコードで加工します。注文方法はLCと同様。加工限界・注意事項(*) は各単体追加工と同様 LC 以下厚公差 全長公差変更 + 全長 全長公差変更 + 変更 ** ※L<16適用不可(け述の1mm単位指定可・1C併用の場合、下は2001mm単位指定可)				

	'é to T		刃先形状			
	追加工	記号	A DREG			
	; HC	НС	ッパ径変更 D≦HC≺H 指定0.1mm単位			
	<u> </u>	тс	ツバ厚変更 2≦TC <t 指定0.1mm単位<br="">(TKC-TKM-CKC-MKC-LCT-LMT併用の場合0.01mm単位指定可) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</t>			
		KC	ッパ部廻り止め 一面加工 OL<16適用不可 80 切り止め が位置変更 指定1*単位			
ッ		WKC	廻り止め平行加工(2面) ♥ 図 日 色 G形状はKC併用可 ⊗L(LC) <16適用不可			
が部		KFC	2707 週り止め0 と 角度指定 加工(2面) 指定1°単位 ※KC・WKC(併用不可 ※L(LC) <16適用不可 ※L(LC) <16適用不可			
		ткс	ッバ厚公差変更 T ^{+0.3} ⇒ ^{+0.02} ⊗L (LC) < 16適用不可 (TC併用の場合、T寸法0.01mm単位指定可)			
		TKM	ッバ厚公差変更 T ^{+0.3} ⇒ 0 0 ⇒ -0.02			
		RC	りテーナ面に対してツバ部を -0.04~0に加エ ⊗ L(LC) <30適用不可			
	$\frac{1}{2} - 1_{-0.01}^{0}$	SKC	シャンク部フラット面加工(1面) ⑦D≧8 L(LC) ≧20に適用 ❷KC・WKC・KFC・ANF併用不可			
その他	50 1 ANF±20'	ANF	アンギュラ角度変更 0.6≦ANF≤1.2 指定0.2°単位 ② 6 3.4 ② 6 3.4 ② 6 3.4 ② 6 3.4 ② 6 7 - 7(第 1/5) ② 6 9 + 2((L - B) tan (ANF') ≥ 0.6 W - Btan (ANF') ≥ 0.6 W - Btan (ANF') ≥ 0.6 ③ 6 (所) 1/5 (25) 16.6			



ノック止め

標準

(SR-) (SRT-) カス詰まり (SV-)

